

令和 6 年度

(2024 年度)

事業報告書

第 1 部 法人の概要

第 2 部 学校教育計画、学校評価及び外部評価委員会の概要

第 3 部 財務概況(計算書類)

学校法人 淀之水学院

昇陽中学校・昇陽高等学校

第1部 法人の概要

1. 法人の設立

(法人の名称) 学校法人 淀之水学院

(法人の住所) 〒554-0011 大阪市此花区朝日1丁目1番9号

(法人の設立) 大正13年3月27日

(電話 番号) 06-6461-0091

(建学の精神 「奉仕のこころ」)

1. 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」(建学の精神の再確認)

2. 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

(教育目標、めざす生徒像)

1. 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成

2. 基礎学力を十分に積み上げた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成

3. 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成

4. 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思わせる学校づくりを目指す。

(校 訓) 清純、質実

(中期的目標)

1. 基礎学力の充実からみずから考える力へ 「授業第一主義」

2. 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力のある充実した学校生活を過ごさせる。

3. 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」

4. 学び、連携できる教員集団

2. 学校法人・学校の沿革

1924年	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
1944年	昭和19年5月2日	財団法人 淀之水高等女学校を設立登記し、木村幸次郎が理事長に就任する。
1947年	昭和22年4月1日	学制改革により、淀之水中学校を併設する。
1948年	昭和23年4月1日	大阪府知事より、淀之水高等学校設立を認可される。
1949年	昭和24年4月1日	大阪市此花区嬉々先町一番地に新校舎が完成移転を完了する。(第1期工事)
1950年	昭和25年4月15日	夜間部の開設授業を開始する。
1951年	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し、認可される。 木村幸次郎理事長が就任する。
1952年	昭和27年10月24日	第2期校舎増築工事竣工(講堂・特別校教室・図書室)
1954年	昭和29年7月25日	第3期校舎増築工事竣工
	昭和29年12月1日	私学法施行五周年記念式典が、大阪府庁で举行され、理事長 木村幸次郎氏が私学振興功勞者として大阪府知事より表彰される。
1957年	昭和32年7月26日	木村晃 学校法人 淀之水学院理事長に就任する。
1959年	昭和34年2月18日	旧南館 第4期工事鉄筋コンクリート三階建(1,221㎡)竣工する。

1963 年	昭和 38 年 11 月 30 日	南西館 第 5 期工事鉄筋コンクリート三階建(2,904 m ²)竣工する。
1964 年	昭和 39 年 7 月 14 日	高架下館 付属校鉄骨二階建(983 m ²)竣工する。
1965 年	昭和 40 年 3 月 30 日	北館及び体育館 第 6 期工事鉄筋コンクリート四階建(3,406 m ²)を竣工する
1968 年	昭和 43 年 4 月 1 日	商業科を設置する。
1974 年	昭和 49 年 10 月 23 日	創立 50 周年記念式典を挙げる。
1978 年	昭和 53 年 3 月 1 日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635 m ²)を竣工する。(商業教室、図書館等)
1984 年	昭和 59 年 2 月 17 日	新体育館兼講堂並びに食堂(2,323 m ²)を竣工する。
1993 年	平成 5 年 2 月 10 日	木村敏 学校法人 淀之水学院 理事長に就任する。
1994 年	平成 6 年 4 月 1 日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置する。
1999 年	平成 11 年 3 月 16 日	新南館(4,343 m ²)を竣工する。
	平成 11 年 4 月 1 日	福祉科を設置する。
2004 年	平成 16 年 4 月 1 日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コースを設置する。
2005 年	平成 17 年 4 月 1 日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。
	平成 17 年 5 月 24 日	鶴巻榮二 学校法人 淀之水学院 理事長に就任する。
2007 年	平成 19 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置する。
2009 年	平成 21 年 3 月 30 日	大阪府知事より、淀之水学院昇陽中学校併設を認可される。
2010 年	平成 22 年 4 月 1 日	学校名を昇陽中学校、昇陽高等学校に変更する。
	平成 22 年 4 月 1 日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ、男女共学とする。
2011 年	平成 23 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2012 年	平成 24 年 4 月 1 日	高校全コースを男女共学とする。
2015 年	平成 27 年 3 月 30 日	東館(3,587 m ²)を竣工する。
	平成 27 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
	平成 27 年 8 月 25 日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635 m ²)の耐震改修工事を完了する。(商業教室、図書館等)
2016 年	平成 28 年 4 月 1 日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・公務員チャレンジコース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2019 年	平成 31 年 1 月 24 日	木村嘉子 学校法人淀之水学院 理事長に就任する。
2020 年	令和 2 年 1 月 30 日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656 m ²
	令和 2 年 4 月 1 日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200 m ²
	令和 2 年 4 月 1 日	普通科に IT フロンティアコース、進学Ⅱ・Ⅲを設置する。
	令和 2 年 11 月 18 日	竹下健治 学校法人淀之水学院 理事長に就任する。
	令和 2 年 12 月 16 日	南西館耐震改修工事を完了する。
2021 年	令和 3 年 1 月 22 日	城山体育館耐震改修工事を完了する。
2022 年	令和 4 年 4 月 1 日	普通科に保育教育コースを設置する。

2024 年	令和 6 年 10 月 24 日	創立 100 周年記念式典を挙行する。
--------	------------------	---------------------

4. 役員名簿(令和 7 年(2025 年)3 月 31 日現在)

①理事定員:5 人以上 8 人以内、監事定員:2 名であり、現員は、以下の通りである。

No	役員	氏名
1	1 号理事・理事長	竹下健治
2	2 号理事	鶴巻禎治
3	3 号理事	干貝孝三郎
4	3 号理事	浅野勝英
5	3 号理事	河村繁
6	3 号理事	桑原志郎
7	3 号理事	奥谷彰男
8	監事	宮田正一
9	監事	中條伊代子

②評議員定員:11 人以上 17 人以内であり、現員は、15 名である。

2. 生徒の在籍状況

(昇陽中学校)

	1 年	2 年	3 年	合計
男子	10 名	13 名	12 名	35 名
女子	8 名	10 名	4 名	22 名
計	18 名	23 名	16 名	57 名

※令和 6 年(2024 年)5 月 1 日現在 昇陽中学校 在籍数(学校基本調査参照)

(昇陽高等学校)

	1 年	2 年	3 年	合計
男子	161 名	170 名	168 名	499 名
女子	100 名	106 名	113 名	319 名
計	261 名	276 名	281 名	818 名

※令和 6 年(2024 年)5 月 1 日現在 昇陽高等学校 在籍数(学校基本調査参照)

第2部 学校教育計画、学校評価及び外部評価委員会の概要

1. 令和6年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」及び「学校評価」の事業報告

令和6年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」及び「学校評価」

昇陽中学校・高等学校

校長 竹下 健治

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」

(1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」

ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。※学習指標である GTZ 指標を基に、各コースの学力定着・学力向上を図る。

イ 「ミネルヴァ・プラン」を中心に「探究の学び」を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。

ウ IT フロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、アニメ、eスポーツ）を柱として育成する。

エ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。特に、中学校は英検の検定合格を重点とする。

2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。

(1) 全コースで、時代に即した活力ある人材育成を図る。そのため、基礎学力を定着させ、応用的学力を向上させる。また、全コースの特色をさらに磨き、探究の学びや実践型学習や外部実習などに努める。さらに部活動や学校行事を活性化させ、生徒の可能性を最大限伸ばす。

(2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。

「教養」では、国語力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。

(3) 100周年記念事業等で、施設改修を行い、学習環境の改善を図る。

3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」

- (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
- (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）

4 魅力ある学校づくりに参画する教職員集団

- (1) 授業力向上の取り組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
- (2) 生徒が輝く魅力ある学校づくり
 - ア 生徒が輝く魅力ある 8 コースへ切磋琢磨する教員集団（探究活動、各コースの活性化のための研修や会議）
 - イ 不登校生徒など配慮を要する生徒への組織的対応として教育支援センターの設置
- (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営、協働の意識を持つ。機動力ある組織作りと小会議やミーティングの開催
 - イ 「昇陽スタンダード」や懲戒規定の改訂を通じて、コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
 - ウ ICT 環境を整え、ホームページを充実させる。SNS 等を使用して積極的に外部発信する。（記録、更新の促進）」
 - エ 新任教員等に定期的な研修を実施する。

- 5 本年度創立 100 周年を迎え、記念式典などを含めた学校行事を元気あるものとし、次の 100 年のための学校改革を全ての教職員で取り組む。

III 本年度の取り組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
	(1) 基礎学力の充実 ア 基礎学力の定着	・<u>学力指標 GTZ による学力定着および学力向上を図る</u> ・宿題・課題とその定着確認 ・自習室の設置	・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価 3%上げる。 ・<u>基礎学力テスト等の分析・検討</u> ・<u>各コースの GTZ を下げる</u>。<u>ない。</u>	・「授業関係」肯定的評価 2.0%上がる。○中学校 7.6%上がる◎ ・テスト後に分析・検討実施○ ・GTZ 特進コースが下降△、他は現状維持○

1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	イ「主体的・対話的で深い学び」の実践 ウ ICT教育の展開 エ ITフロンティアコースの4分野の展開 (2)生徒が輝く居場所 オ 各コースの目標設定・取組み	・放課後、長期休業中の講習の充実 ・朝のHRに朝読と朝テスト ・ICT教育やアクティブラーニングの研究授業実施 ・中学校1年、高等学校1年全員に、1人1台のクロームブックを使用させ、新たなICT教育の取組みを行う。 ・プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、アニメ、eスポーツの取組み ・各コースの特色ある学び	・講習の開講日数および参加者状況 ・朝テストの実施率 ・ICT教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況 ・<u>ICT教育事例</u> ・週1回放課後の活動状況 ・各コースの特色ある学び実践例	・講習は各教科継続実施○ ・朝HRは中学校SDG'sラジオ◎、高校は継続実施できず△ ・令和7年度DXハイスクール事業に応募 ・中学校は英検対策でICT教材「すらら」利用 ・高校はデジタル教科書など使用 ・イラストやeスポーツで活動 ・特進コース…ECCグローバル体験 ・進学コース…ミネルヴァプランで校外学習 ・看護医療コース…暁明館病院で実習など ・保育教育コース…桃山教育大学から週1で出前授業 ・パティシエコース…「なんばマルイ」で出店販売、豊能町のふるさと返礼品製作、販売、辻調スペシャル授業、和菓子スペシ
-------------------------------	---	---	--	---

		・キャリアビジョンの形成 ・英検、GTEC の充実 ・英検、数検、漢検の受検促進 ・特進、進学コースの進路実現 ・<u>探究の学びなどから総合型選抜受験</u> ・進路決定率を高める ・就職・公務員希望者の進路実現 ・模試による学力評価 ・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ ・福祉コースの進路実現 ・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。	・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価 3% 上げる。 ・<u>キャリアビジョン形成取組み</u> ・キャリアパスポートの作成 ・<u>英語の外部検定試験合格者数（英検、GTEC）</u> ・<u>難関私立大学合格者数</u> ・<u>総合型選抜入試の受験数</u> ・就職希望内定率を 100% ・公務員試験合格者 ・介護福祉士国家試験合格率 85%以上 ・中学校英検等、昨年度以上	・ヤル授業、紅茶スペシャル授業 ・福祉コース…施設での介護実習（全体として◎） ・「進路関係」評価 4.3% 上がる中学校 18.4% 上がる◎ ・大学見学、分野別説明会○ ・各学期末に記入○ ・高校準 2 級 6 名（昨年 13 名）△ ・薬学系大学 15 名、武庫川女子大学 6 名、神戸市外国語大学 1 名◎ ・進学 205 名中 92 名が総合型入試受験 ・学校幹旋就職率 100%◎ ・大阪府庁合格◎ ・介護福祉士国家試験発表は 3/24、27 名受験で 22 名合格（81.5%）○ ・中学校英検準 2 級 3 名（昨年なし）3 級 2 名（昨年 6 名）◎
--	--	---	---	--

		・放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。 ・各コースのカリキュラム変更準備	・昇陽塾の利用状況	・昇陽塾毎日利用あり。継続利用は2年生が多かった。 ・カリキュラムは学校方針に従って変更準備している。
2 輝く 居場所 を作る	(1) 新コースの立上げと人材育成など (2) 「For Others」などの人材育成 (3) 施設整備の充実	・進学コースとビジネス・IT フロントティアコースでの取り組み ・全てのコースの学力育成と特色ある取り組み ・各コースで「For Others～奉仕のこころ」の取り組みを行う。 <u>100 周年記念事業施設および活動例</u>	・<u>学校教育自己診断の学校満足度の上昇</u> ・「For Others」各コース取り組み例 ・海外修学旅行や海外研修の取り組み模索	・学校満足度1.6%上がる。○中学校12%上がる◎ ・保育教育コース…「地域なかよしイベント」実施 福祉コース…此花区役所支援事業コラボ◎ ・海外修学旅行 44名参加 ・海外語学研修 8名参加◎ ・100 周年記念式典…生徒主体の式典実施◎

3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成	ア 授業に集中できる学習環境と授業規律	・生徒による挨拶運動の実施 ・正門での「正門一礼」の実施 ・予鈴や入室指導の継続 ・「5分前集合」を徹底させる ・	・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価3%上げる ・「5分前集合」「授業集中状況」 ・<u>遅刻件数を昨年度比10%減少</u>	<u>サッカー部挨拶運動実施◎</u> ・移動教室の入室が遅い△ 「生徒指導」関係3.2%上がる○ - 中学校12.5%上がる◎ ・「5分前集合」…定刻集合はできるが○ ・「授業集中」は授業によってできていない△ - 昨年度より1.75%増える△ ・生徒・教職員向け人権研修実施
	イ 人権意識の醸成	・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修）		
	ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化	・強化クラブの充実	・強化クラブの全国レベル大会出場 ・<u>社会貢献と地域連携の取組み</u> ・<u>部活動参加率</u>	・中学校…女子ソフトテニス部全国中学生大会団体優勝◎ - 高校…女子ソフトテニス部インターハイ3位◎7 - 男子バレーボール部…インターハイ、春高出場◎ ・ボランティア部やダンス部が此花区の行事に参加◎ ・高校48%（昨年43%）◎ - 中学校86%（昨年81%）◎

4 魅力ある学校づくりに参画する教職員集団	(1) 授業力向上の取り組み	・授業公開週間の設定 ・授業アンケートの実施 ・各教科・科目のシラバスの充実 ・夏季休業中の外部研修受講 ・先進校訪問 ・各種委員会（将来構想委員会、ICT 検討委員会、入試問題検討委員会、教育相談委員会）による問題対応	・相互授業見学、研究協議の実施 ・<u>教職員「昇陽スタンダード」の周知</u> ・<u>観点別評価実施状況</u> ・<u>教職員研修会の開催件数</u> ・<u>先進校訪問</u>	・授業公開週間の実施 ・「昇陽スタンダード」は職員会議等で周知 ・観点別評価実施 ・夏休みなどで人權研修等 ・先進校訪問できず△ ・入試検討委員会や教育相談委員会では定期開催で問題対応○
	(2) 魅力ある学校づくり	・ <u>進学 I コースのミネルヴァプランの立上げ</u>	・ <u>ミネルヴァプランの実施状況</u>	・ミネルヴァプラン「大阪学」で実施
	ア 魅力ある 8 コース	<u>各コースの探究の学び等の活動</u> ・不登校生徒の組織的対応	<u>各コース活動実践例</u> ・<u>教育支援センターの立上げ</u>	・前述している。
	(3) その他	・<u>生徒の欠席等の日常生活の把握</u> ・学校ウェブサイトの刷新	・中退者の減少 ・学校ホームページの更新状況	・教育支援センターを立上げ、不登校生徒などに登校促進・学習支援している◎
				・本年度 HP をリニューアル、NEWS 更新 54 回、インスタ更新 98 回

2. 令和6年度 昇陽中学校・高等学校 外部評価委員会 事業報告

○根拠規定：学校法人淀之水学院 外部評価委員会規程(平成30年9月8日制定)

第1回外部評価委員会 令和6年10月5日(土) 13時 新南館 3F 第1会議室において

参加者：区長、地元校長、大学教授、教育関係者、保護者会会長、学校関係者(校長他)

1. 委嘱状交付
2. 委員紹介
3. 令和6年度 学校教育計画について(校長より説明)
 - ・ICT教育や探究実践型学習をさらに促進する。
 - ・時間の厳守・挨拶・身だしなみ・「ベル始業」などが弱くなってきている。生徒指導の取り組みが必要。
 - ・教育支援センターを立上げ、より個々の生徒の課題等に向きあいたい。
 - ・難関私立大学をはじめ進路の実績を着実に上げていく。

(評価委員のご意見)

- ・地域の連携をさらに深める必要があるのでは。
- ・教育支援センターなどで個々の生徒に対して細やかな対応をしてもらえることは有難い。
- ・これだけの進路実績が短期間に出せた事を、もっと広報活動した方が良い。

4. 現状報告と学校教育計画の進捗状況

第2回外部評価委員会 令和7年3月15日(土) 新南館 3F 第1会議室において

1. 学校教育計画と自己評価分析

(学校教育計画の自己評価に対する評価委員のご意見)

- ・コロナ禍後、生徒指導で課題が出てきたし、不登校生徒も多くなった。生徒が変化した。
- ・自己評価に関して、概して△もあるが、○や◎が多く、前向きである。進路実績も伸びているし、進学系が頑張っている。教育支援センターの立上げに注目している。
- ・全体的に悪い内容ではない。目標値が高ければ評価は低くなる。逆に、低い目標で低い評価は分析する執拗がある。

2. 学校教育自己診断アンケート結果について

今回、委員の皆さんに学校評価アンケートをやり始めた6年間の数値変化を見ていただく趣旨は、数値に一喜一憂しないで生徒たちの学校への評価の変化を俯瞰した状態で見えていただきたいと思ったからである。

① 高校生について

全体的に着実に数値が上がってきているが、さらなる数値(評価)上昇が必要である。

- 1「あなたにとって、昇陽高校での高校生活は全般的に満足できるものですか。」ここ数年来、数値が上がってきているが、今後学校満足度85%を目標として学校努力する。
- 3「昇陽高校は、その教育方針を日々の活動に生かしていると思いますか」が、従来から数値が低い。「For Others」の活動も含めて、学校教育計画の中の位置づけが必要だと思われる。
- 8「先生に質問や相談に丁寧に応じてくれるか」は86%と数値が高い。「面倒見の良さ」を強めていきたい。
- 12「文化祭は、満足できるものでしたか。」は数値が上がってきているが、グラウンドを発表会場にした、キッチンカーの導入、休憩場所の確保などが高評価につながったと思われる。
- 15「昇陽高校は、日頃から日常生活のマナーや社会のルールを守るように取り組んでいますか。」24「教室内

の環境は快適だと思いますか。」は、数年来あまり変わらない、もしくは評価が下がっている。生徒指導面の指導方法も含めて考察する必要がある。

22「学校の施設・設備は満足できるものだと思いますか。」数年来、低い評価である。学校の老朽化とともに、適切な施設更新を必要と思われる。

② 中学生について

全体的に高止まりの状態である。また、中学生の数値（評価）は、中学生の母数が少ないので、数人の回答で数値が変化する。その意味で昨年度全体的に数値が低かったが、昨年度と比較として、本年度は数値が上がった項目が多かった。

22「学校の施設・設備は満足できるものだと思いますか。」の評価が下がってきている。施設・設備の適切な更新が必要と思われる。

③ 保護者について

高校保護者に比べて中学保護者の学校満足度の数値が下がってきている。教育活動に対して理解されているか確認する必要がある。

4「昇陽高校は、社会に出るために基本的な考えや行いを身につけさせようとしていると思われますか。」の数値が下がってきている。教育方針や生徒指導面の指導について、再度確認する必要があると思われる。

8「昇陽高校は、お子様の資格（英検・漢検など）取得に熱心に取り組んでいると思われますか。」の数値が下がってきている。また、英検合格者数も下がってきているので、取組みも含めて見直す必要がある。

（学校教育自己診断に対する評価委員のご意見）

- ・もう一段上げるの KPI（Key point index）を採用してはどうか。
- ・5年間で上がってきている事は素晴らしい。中学校の保護者が辛いのは、期待値が大きいということか。満足度8割を目ざしてほしい。
- ・「集団の力」をどうつけていくのか、学びの集団をどう作っていくのか、子ども同士が学び合うことが大切。

第3部 財務の概況(計算書類)

1. 令和6年度の計算書類(資金収支計算書、資金収支内訳表、事業活動収支計算書、事業活動内訳表、貸借対照表等)

(1)資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動における収入と支出の内容並びに支払資金の状況を明らかにしたものです。

『資金収支計算書』

(単位：円)

資金収支計算書(4月1日～3月31日)

収入の部	2024年度(令和6年度)	2025年度(令和5年度)	増減
学校生徒等納付金収入	415,529,430	464,710,510	△ 49,181,080
手数料収入	13,766,400	12,647,700	1,118,700
寄付金収入	5,822,000	6,196,000	△ 374,000
補助金収入	498,046,048	475,259,572	22,786,476
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	990	2,055	△ 1,065
受取利息・配当金収入	26,625	641	25,984
雑収入	42,055,331	12,523,271	29,532,060
借入金収入	20,000,000	12,100,000	7,900,000
前受金収入	46,290,000	42,800,000	3,490,000
その他の収入	257,989,208	237,681,830	20,307,378
資金収入調整勘定	△ 84,232,177	△ 63,284,864	△ 20,947,313
前年度繰越支払資金	214,170,824	160,883,395	53,287,429
収入の部合計	1,429,464,679	1,361,520,110	67,944,569

支出の部	2024年度(令和6年度)	2025年度(令和5年度)	増減
人件費支出	589,406,377	617,876,813	△ 28,470,436
教育研究研究経費支出	270,366,163	254,499,858	15,866,305
管理経費支出	37,052,002	35,413,663	1,638,339
借入金等返済支出	1,082,152	1,151,628	△ 69,476
借入金等返済支出	49,720,000	14,560,000	35,160,000
施設関係支出	984,500	11,377,660	△ 10,393,160
設備関係支出	19,342,048	2,569,940	16,772,108
資産運用支出	77,055,194	81,911,646	△ 4,856,452
その他の支出	194,932,713	137,532,904	57,399,809
資金支出調整勘定	△ 36,739,174	△ 9,544,826	△ 27,194,348
翌年度繰越支払支出	226,262,704	214,170,824	12,091,880
支出の部合計	1,429,464,679	1,361,520,110	67,944,569

『資金収支内訳表』

(単位：円)

令和6年度 資金収支内訳表(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部	昇陽高等学校	昇陽中学校	総額
学生生徒等納付金収入	380,973,600	34,555,830	415,529,430
手数料収入	13,091,400	675,000	13,766,400
寄付金収入	5,539,000	283,000	5,822,000
補助金収入	463,365,728	34,680,320	498,046,048
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	932	58	990
受取利息・配当金収入	26,625	0	26,625
雑収入	41,484,174	571,157	42,055,331
借入金収入	20,000,000	0	20,000,000
収入合計	924,481,459	70,765,365	995,246,824

支出の部	昇陽高等学校	昇陽中学校	総額
人件費	546,594,502	42,811,875	589,406,377
教育研究経費支出	224,837,845	45,528,318	270,366,163
管理経費支出	31,738,151	5,313,851	37,052,002
借入金等利息支出	1,082,152	0	1,082,152
借入金等返済支出	49,720,000	0	49,720,000
施設関係支出	984,500	0	984,500
設備関係支出	19,342,048	0	19,342,048
支出額合計	874,299,198	93,654,044	967,953,242

(2) 事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動の収入及び支出内容並びに基本金組入後の均衡の状態を明らかにしたものです。

『事業収支計算書』

(単位：円)

事業収支計算書(4月1日～3月31日)

		科目	2024年度(令和6年度)	2023年度(令和5年度)	増減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	415,529,430	464,710,510	△ 49,181,080
		手数料収入	13,766,400	12,647,700	1,118,700
		寄付金	5,822,000	6,356,616	△ 534,616
		経常費等補助金	498,046,048	475,259,572	22,786,476
		付随事業収入	990	2,055	△ 1,065
		雑収入	42,055,331	12,530,777	29,524,554
		教育活動収入	975,220,199	971,507,230	3,712,969
	事業活動支出の部	人件費	589,406,377	617,876,813	△ 28,470,436
		教育研究経費	381,628,385	368,275,697	13,352,688
		管理経費	39,080,654	38,349,759	730,895
		徴収不能等	10,246,224	454,712	9,791,512
		教育活動支出計	1,020,361,640	1,024,956,981	△ 4,595,341
		教育活動収支差額	△ 45,141,441	△ 53,449,751	8,308,310
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	26,625	641	25,984
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	26,625	641	25,984
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,082,152	1,151,628	△ 69,476
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,082,152	1,151,628	△ 69,476
		教育活動外収支差額	△ 1,055,527	△ 1,150,987	95,460
		経常収支差額	△ 46,196,968	△ 54,600,738	8,403,770
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	1,355,200	0	1,355,200
		特別収入計	1,355,200	0	1,355,200
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	1,355,200	0	1,355,200
		特別支出計	1,355,200	0	1,355,200
		特別収支差額	0	0	0
[予備費]			0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			△ 46,196,968	△ 54,600,738	8,403,770
基本金組入額合計			△ 32,215,024	△ 39,024,301	6,809,277
当年度収支差額			△ 78,411,992	△ 93,625,039	15,213,047
前年度繰越差額			△ 1,766,495,438	△ 1,672,870,399	△ 93,625,039
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 1,844,907,430	△ 1,766,495,438	△ 78,411,992
(参考)					
事業活動収入計			976,602,024	971,507,871	5,094,153
事業活動支出計			1,022,798,992	1,026,108,609	△ 3,309,617

『事業収支内訳表』

(単位：円)

事業収支計算書(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

		科目	昇陽高等学校	昇陽中学校	合計
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	380,973,600	34,555,830	415,529,430
		手数料収入	13,091,400	675,000	13,766,400
		寄付金	5,539,000	283,000	5,822,000
		経常費等補助金	463,365,728	34,680,320	498,046,048
		付随事業収入	932	58	990
		雑収入	41,484,174	571,157	42,055,331
		教育活動収入	904,454,834	70,765,365	975,220,199
	事業活動支出の部	人件費	546,594,502	42,811,875	589,406,377
		教育研究経費	336,100,067	45,528,318	381,628,385
		管理経費	33,766,755	5,313,899	39,080,654
		徴収不能等	10,246,224	0	10,246,224
		教育活動支出計	926,707,548	93,654,092	1,020,361,640
		教育活動収支差額	△ 22,252,714	△ 22,888,727	△ 45,141,441
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	26,625	0	26,625
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	26,625	0	26,625
	事業活動支出の部	借入金等利息	1,082,152	0	1,082,152
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,082,152	0	1,082,152
		教育活動外収支差額	△ 1,055,527	0	△ 1,055,527
経常収支差額			△ 23,308,241	△ 22,888,727	△ 46,196,968
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	1,355,200	0	1,355,200
		特別収入計	1,355,200	0	1,355,200
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	1,355,200	0	1,355,200
		特別支出計	1,355,200	0	1,355,200
		特別収支差額	0	0	0
[予備費]			0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			△ 23,308,241	△ 22,888,727	△ 46,196,968
基本金組入額合計			△ 32,215,024	0	△ 32,215,024
当年度収支差額			△ 55,523,265	△ 22,888,727	△ 78,411,992
(参考)					
事業活動収入計			905,836,659	70,765,365	976,602,024
事業活動支出計			929,144,900	93,654,092	1,022,798,992

(3) 貸借対照表は、当該会計年度末における資産・負債・純資産を把握し、財政状況を示すものです。

『貸借対照表』

(単位：円)

貸借対照表(3月31日現在)

科目	2024年度(令和6年度)	2023年度(令和5年度)	増減
固定資産	2,429,426,233	2,523,740,738	△ 94,314,505
有形固定資産	2,415,296,169	2,512,884,307	△ 97,588,138
特定固定資産	8,860,982	8,856,756	4,226
その他の固定資産	5,269,082	1,999,675	3,269,407
流動資産	338,206,203	306,560,254	31,645,949
資産の部合計	2,767,632,436	2,830,300,992	△ 62,668,556
固定負債	227,191,700	244,898,250	△ 17,706,550
流動負債	248,236,521	247,001,559	1,234,962
負債の部合計	475,428,221	491,899,809	△ 16,471,588
基本金	4,137,111,645	4,104,896,621	32,215,024
第1号基本金	4,038,250,663	4,006,039,865	32,210,798
第3号基本金	8,860,982	8,856,756	4,226
第4号基本金	90,000,000	90,000,000	0
繰越収支差額	△ 1,844,907,430	△ 1,766,495,438	△ 78,411,992
純資産の部合計	2,292,204,215	2,338,401,183	△ 46,196,968
負債及び純資産の部合計	2,767,632,436	2,830,300,992	△ 62,668,556

『財産目録』

財産目録(令和7年3月31日現在)

【財産総額】

(単位：円)

科目	金額
資産総額	2,767,632,436
基本財産	2,420,565,251
運用財産	347,067,185
負債総額	475,428,221
正味資産	2,292,204,215